

漁海況情報

平成 28 年 9 月 16 日 第 11 号 (通巻 592 号)

山口県水産研究センター 外海研究部 〒759-4106 長門市仙崎 2861-3

TEL : 0837-26-0711 FAX : 0837-26-1042 Mail : a16402@pref.yamaguchi.lg.jp

【海鳴りネットワーク ホームページ】

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a16500/uminari/uminari-top.html>

【ウルメイワシの漁況予報】

ウルメイワシの漁況について、現在当センターが入手している情報から今期の予測を行いましたので参考にしてください。

【今後の見通し】

漁獲量：平年並み～平年をやや上回る

漁期：小・中羽（全長 15cm 以下）：～9月

大羽（全長 15cm 以上）：～10月

【予測の根拠】

1. 漁獲量の長期変動傾向

1) 湊市場の漁獲量と漁期

浮敷網（棒受網、すくい網）による漁獲量の推移は、1989 年をピークに、それ以降減少傾向にある。銘柄は 1989 年までは小・中羽が主体であったが、1990 年を境に大羽の割合が増加している（図 1）。近年は 7～8 月から小・中羽が漁獲されはじめ、9 月から大羽が混じるようになり、10 月末頃に漁期が終了する。

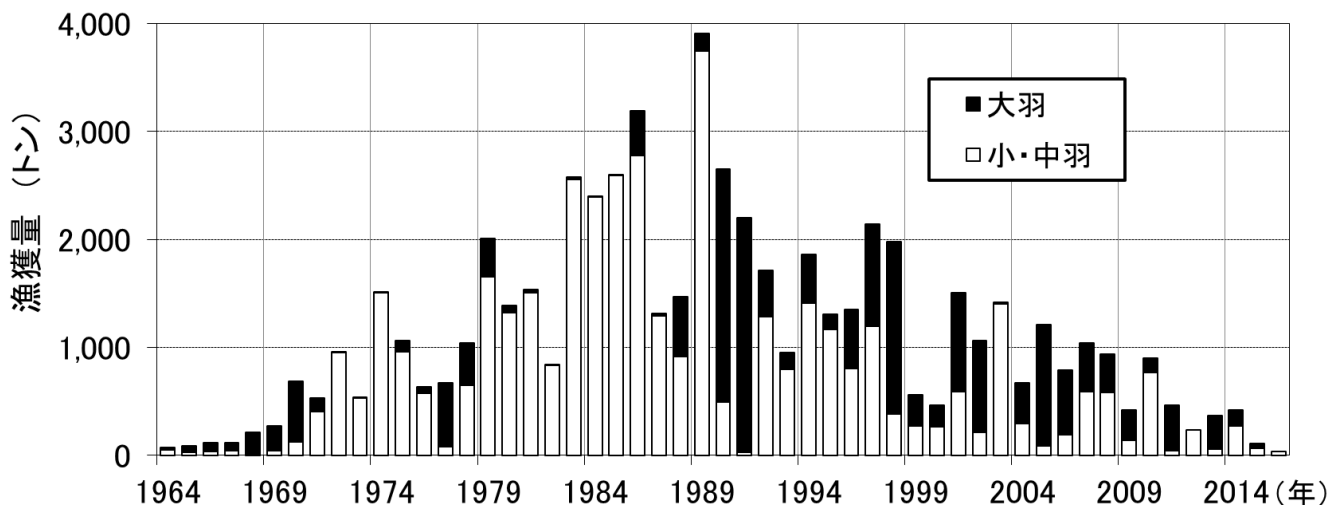


図 1 山口県漁協湊市場のウルメイワシ銘柄別漁獲量の推移（1964-2016 年）

（※2016 年の漁獲量は 8 月末までのもの）

2) 初漁期漁獲量と年間漁獲量

湊市場の初漁期(7~8月)漁獲量と年間漁獲量との間には正の相関がみられる(図 2)。本年7~8月の漁獲量は 34 トンであったので、下図の関係式より、年間漁獲量は 540トンと予測された。

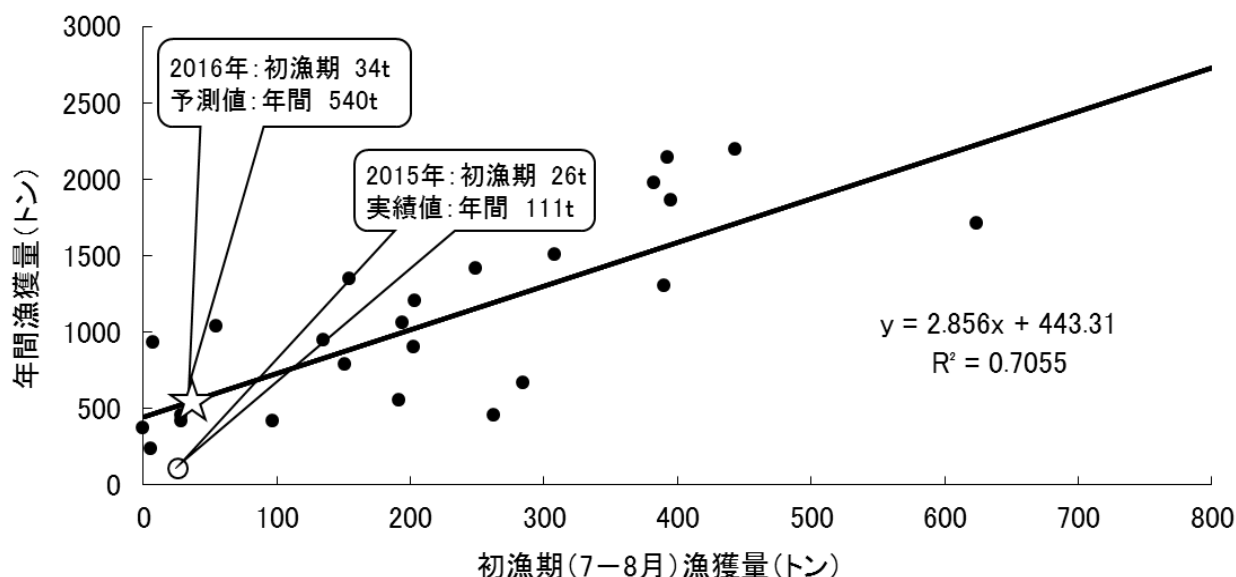


図 2 山口県漁協湊市場のウルメイワシ初漁期漁獲量と年間漁獲量の関係 (1964-2015 年)

2. 本年の漁獲動向

1) 湊市場の浮敷網による漁獲動向(今年9月上旬まで)

ほぼ例年どおり8月初頭から小・中羽が漁獲され始めたが、8月中旬以降は漁獲対象がカタクチイワシ(シラス~カエリ)に切り替わり、ウルメイワシの水揚げはほとんどなかった。

2) 西部他県の漁獲動向

長崎県北松南部海域で操業する中・小型まき網の7~8月の漁獲量は、大羽主体に 1,984 トン(平年同期比 367%(過去 5 年平均:542 トン))であった(長崎県総合水産試験場発行・漁海況週報より集計)。

3. 今後の見通し

①初漁期の漁獲量と年間漁獲量の関係式では今年の漁獲量は 540 トンで平年値(過去 5 年平均:319 トン)を上回ると推定された。また、②長崎県海域での漁獲量は平年を大きく上回っている。ただし、③例年漁獲の多い9月前半の漁獲がほとんどなかった。

これらのことから、今後は漁獲量が増加していき、漁期全体での漁獲量は平年並み~平年をやや上回ると予想されます。